

9月定例会
開 会
県議会

総合的な雪対策 再生可能エネ導入促進



2012年9月30日
- 32号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
県議会共産党執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

県議会定例会が19日開会し、本会議で知事説明が行われました。(会期は10月5日まで)

提案された議案は、今年度一般会計補正予算を含む35件となっております。

補正予算の内容では、**県民の生命と暮らしを守る取り組みの推進**として、地域の実情等にきめ細かに対応する「雪対策総合交付金」の創設8400万円が盛り込まれ、要援護者への除排雪支援、樹園地枝折れなどの被害防止のための作業道除排雪支援などの例があげられています。

また、特別支援学校の再編整備に向けた分教室設置の調査・検討や、総合療育訓練センター改築に向けた地盤調査の費用が計上されました。大蔵村肘折地区地すべり災害や4月の強風・高波で被災した漁港などを含む災害復旧事業が約24億円あげられています。

復興・再生に向けた

渡辺ゆり子県議が紹介議員になった請願

請願の件名	関係委員会
2013年度県予算における私学助成関係予算の拡充について (提出者：山形県私学助成をすすめる会)	総務
就学支援金及び私学助成の増額を求める意見書の提出について (提出者：同上)	
金融円滑化法を延長し、恒久法にすることを求める意見書の提出について (提出者：山形県商工団体連合会)	商工労働観光

取り組みの推進として、観光交流機会の創出、雇用基金を活用した雇用創出事業の追加などが計上されました。「卒原発」を提唱した



ゆり子の視点

野田内閣は19日、「革新的エネルギー・環境戦略」の閣議決定を見送りました。

「戦略」には、国民的運動におされ「2030年代に原発稼働ゼロ」を入れざるを得なくなりましたが、期限も工程も示されない不確かなものです。それでさえ、財界とアメリカが「原発ゼロ」に強く反発



「原発ゼロ」今すぐ決断を

したのです。しかし、圧倒的多数の国民が「原発ゼロ」を早く確実なものにしてほしいと望んでいます。

金曜日(19日)の首相官邸前行動は、全国各地に広がっています。山形市で8月3日に始まった「幸せの脱原発ウォーキング」は、毎週金曜日に続けられていて、9月21日で8回目を迎えました。いでたちも様々なみなさんが、それぞれの思いを持ちよって「原発反対」「電気は足りています」とアピールを続けています。

「原発ゼロ」を実現するには、財界にもアメリカにも国民の立場でものを言う政治・政府をつくっていくしかありません。ともに歩き続けましょう。

【写真】「幸せの脱原発ウォーキング」に参加するゆり子県議(左端)、石川渉(院山形一区候補(右端)) 8月24日

中小企業振興条例を検討中

山形県中小企業振興条例(仮称)の検討が行われています。

中小企業振興が全国的課題となっているなか、条例制定を行う県が徐々に増えています。山形県議会でも取り上げられ、共産党県議団も山商連とともに制定を求めてきました。

また、昨年度は私・渡辺ゆり子が紹介議員となつて、条例制定を

ます。県民のみなさんの日頃の暮らしの思いを、しっかりと代弁していく議会にしたいと考えています。



請願3件の紹介議員に

10月は決算審査

今回提出された請願のうち、私・渡辺ゆり子は3件の請願について紹介議員になりました(別項)。

定例会最終日の10月

5日には、2011年度決算が上程されます。24、26日の閉会中委員会で決算審査が行われる見込みです。

求める請願が出されました(継続審査)。現在、自民党と県政クラブの交渉会派による検討会が議会内に設置され、議員発議をめぐり、議論を重ねています。24日には少数会派に対し、条例の骨子(たたき台)が示されました。このまま進めば、12月定例会で条例案が議論される見通しです。